

## 季節の花だより



### ● 淀江・古代の丘公園のハスの花

6月末  
~8月

法隆寺の壁画と並ぶ歴史的価値を持つ色付き壁画が見つかった「上淀廃寺跡」、また日本最大級、弓ヶ浜の眺望が絶景の「妻木晩田遺跡」のほど近くにある「伯耆古代の丘公園」では、古代ハスをはじめ40種類にもおよぶハスが次々に開花。花は未明に咲き始め、昼前にはしぼむということですので、午前中、早い時間にお出かけください。ハスを鑑賞の後は、公園隣の「白鳳の里」で評判の「そば」「名水とうふ」料理をご賞味ください。

- 伯耆古代の丘公園 / 0859-56-6817
- 白鳳の里 / 0859-56-6798 (米子駅から車で15分)

### ● 大山放牧場の広～い花畑

8月

8月下旬になると大山の裾野に広がる大山放牧場(榑水高原下)の花畑にコスモスが満開の季節を迎えます。爽やかな風に吹かれると、コスモスの花が波のように規則的にウェーブしていきます。放牧場内の「みるくの里」前に、大芝生広場が無料で一般開放されています。広～い芝生広場に転がって見る景色はまるで北海道。天気がいい日には目の前の大山はもちろん、眼下には米子市内、弓ヶ浜半島、日本海、島根半島が望めます。運がよければ日本海にぼっかり浮かぶ隠岐の島を見ることもできます。夕方のサンセット時(18時半頃)や夜景、満天の星もステキです。



## 季節の味だより



### ● 大山の山麓にブルーベリーの季節到来!

7月上旬よりブルーベリー摘み取り農園がオープン。目にとってもいいブルーベリー。大山のブルーベリーは無農薬なので獲ってそのまま食べられます。口いっぱいほおぼると、さっぱりした甘みのブルーベリージュースで口の中が満たされ幸せな気持ちになります。収穫した実でジャム作り、ブルーベリー酒作りにもチャレンジ!

- 地頭農園 / 0859-53-8810 ● あきた農園 / 0859-53-8811
- 宮永農園 / 0859-53-4843 ● 小林農園 / 0859-54-4007

### ● 境港でクロマグロ 本格的な水揚げ



7月になると大型のマグロが大漁となり、多いときには約千本ものクロマグロが揚がります。1本40キロ前後から200キロを超える大物まで、県営境港魚市場に巨体が無数に並んだ

様は度肝を抜かれます。境港水産物直売センターや境港さかなセンターではどれたたのマグロのトロをブロックで買うことができます(2千円から5千円)。冷凍していないクロマグロの刺し身は絶品!お土産におすすめ。



### ● 初秋の味覚・二十世紀梨

8月下旬から鳥取名産「二十世紀梨」の収穫が始まります。早生のハウス二十世紀梨は8月上旬にはお店に並びます。大山山麓には観光梨園、選果場があり新鮮な梨がお手頃価格でお求めいただけます。二十世紀梨は、出始めの頃の青い感じのものが最もジューシーでおいしく、贈答にする場合は8月下旬から9月上旬のものがおすすめです。大山道路沿いの「大山観光農園」の梨狩りは8月上旬から始まります。(25日頃までは「幸水」)

- 大山観光農園 / 0859-27-2678

## とっとり花回廊

TEL.0859-48-3030



### ● ムーンライトフラワーガーデン

日本最大級のフラワーパーク「とっとり花回廊」で、人気プログラム「ムーンライトフラワーガーデン」が週末に開催されています。東京タワーや明石海峡大橋などのライティングを担当した世界的な照明デザイナー、石井幹子さんによるもので、花や

樹木・建物が「月の光」をイメージした優しい光に包まれます。言葉をなくすぐらいの素敵な空間となります。(日没後から午後10時まで)

#### ムーンライトフラワーガーデンの開催日

7月 毎週土日、祝日 と22日以降は金曜日も開催  
7/2,3 9,10 16,17,18 22,23,24 29,30,31  
8月 毎週金土日 と 15-18日は連続  
8/5,6,7 12,13,14,15,16,17,18,19,20,21 26,27,28

### ● 天体観測会

とっとり花回廊では「望遠鏡製作と天体観測会」を開催。望遠鏡キットを使って自分で望遠鏡を作り、その後、月やベルセウス流星群の観測を行います。講師は、米子高専の竹内助教授。

- 日時 / 8月12日(金)
- 望遠鏡製作 / 16:00~18:00 天体観測会 / 19:30~21:00
- 定員 / 小学生親子20組
- 料金 / 望遠鏡キットの実費2,000円
- ※ その他、「夜の昆虫採集会」や「野鳥観察会」も開催予定!

## 展覧会 Pick up!

### ■ 「新米子市誕生記念 國頭繁次郎」 米子市美術館

ふるさとを描き続けた淀江町出身の洋画家、國頭繁次郎(くにとうしげじろう / 1916~1969)。



「平和を乱すもの」

戦時中従軍し、終戦後はシベリアに抑留され、本格的に絵の制作を始めたのは帰還後、30歳を過ぎてから。35歳の時、第19回独立展に出品した《裸婦》(米子市美術館蔵)が初入選、以後同展を中心に次々と作品を発表しました。ふるさとの風物など身近なものをモチーフとし、下地にセメントなどを用いた厚重な絵肌の独自の画風…。作品に満ちたその気迫は見る者を圧倒します。

#### ■ 主な出品作品 ■

裸婦(1951年)米子市美術館蔵、平和を乱すもの(1954年)米子市美術館蔵、十字架より降すキリスト(1955年)鳥取県立博物館蔵、古代の馬(A)(1962年)個人蔵、大山北壁の秋(1968年)個人蔵など

### ■ 「本の学校おもちゃ展」本の学校



岡山県美作市にある現代玩具博物館から、78点もの素敵なおもちゃがやってきます。写真のペーパーからくりをはじめ、

ネフに代表される構成玩具(積木)や夏休みの宿題の参考になりそうな工作キット、ドイツのおもちゃ職人さんの技が光るエルツ(ドイツエルツゲビルグ地方のミニチュアおもちゃ)も展示されます。※展示期間中、ペーパーからくり、工作キットの販売もあります。

### ■ 「企画展 レンズが撮らえた大正・昭和」

～町に息づく人々のくらし～

米子市淀江歴史民俗資料館



大正、昭和30年代ごろの写真と民俗資料で淀江の町をたどります。淀江の町をご存知ない方も、この写真や資料をご覧ください。と「こんなあったね～」と会話が弾むことうけ合い。懐かし

い団扇も展示しています。新米子市になった淀江の町ですが、残しておきたい暮らしや思いは誰にでもありますね。ぜひそんなものや場を見つけるきっかけにいただければ……。ささやかですが懐かしみと新発見を提供します。ポイントは…【あなたの 見つける心と目です】さあお出かけください。



### ■ 「昆虫展」

海とくらしの史料館

昨年も開催され、子供達に大人気を博し、アンコールに答えて今年

も開催!境港市内の三島寿雄氏が所有されている、世界のチョウ・カブトムシ、見たことのない「カブトムシ」「クワガタ」をはじめ、今年は特に南米・アフリカのさまざまな昆虫たちが勢ぞろいします!